

江東区臨海部都市交通ビジョンについて

「江東区臨海部都市交通ビジョン」が令和6年3月に策定されました。本協議会では、昨年12月から今年1月に江東区が実施した骨子案に関する意見募集に対して、新木場エリアの域内交通の充実に向けた取組みについて、意見を提出しました。

意見募集後（令和6年1月29日）に開催された、「江東区都市計画マスタープラン2022推進会議※」の資料では、本協議会の意見に対し、「新木場エリアにおいても、域内交通の充実に向け基本方針に基づく取組みを推進します」という区の見え方が示されており、今後新木場エリアの域内交通の充実が進んでいく契機と捉えています。

※マスタープランの成果管理及びまちづくり方針等の策定について、学識経験者の専門的知見及び公平な見地により意見を聴取するための会議

「(仮称)江東区臨海部都市交通ビジョン(骨子案)」に関する意見募集の概要

<実施期間>

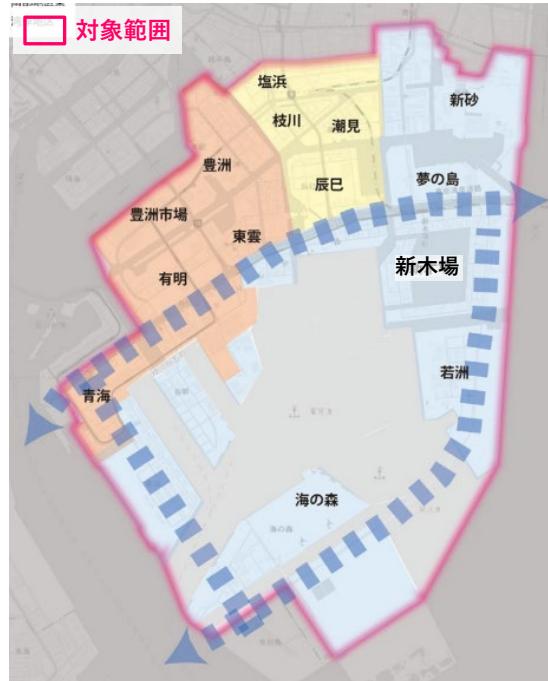
令和5年12月21日～令和6年1月10日

<ビジョン策定の目的・位置付け>

- 令和4年3月策定の「江東区都市計画マスタープラン2022」の重点戦略の一つである「未来の臨海部のまちづくり」を推進するために江東区が策定するものです。
- 臨海部のアクセス性や回遊性の向上を図るために、江東区臨海部の都市交通の目指す姿やその実現に向けた方針等を示すことを目的としています。
- 本ビジョンは、江東区臨海部の都市交通に対する区の見え方を示すもので、都市計画マスタープラン等を上位計画とし、個別の取組みの推進や今後策定する計画への反映等に活用されるものです。

<意見募集時の公表内容>

- 骨子案が示され、江東区臨海部の都市交通の目指す姿と4つの基本方針等が示されました。



江東区臨海部都市交通ビジョン（江東区）

出典：江東区ウェブサイト

基本方針と取組み

基本方針 1 アクセシ性の高い交通ネットワークの形成

地下鉄8号線の延伸
都心部・臨海地域地下鉄の整備
羽田空港アクセス線（仮称）の整備
バス交通の充実
幹線道路の整備
第二東京湾岸道路の整備
臨海部と城東地域を結ぶ南北交通の充実

基本方針 3 多様な交通が連携したシームレスな交通体系の構築

鉄軌道駅における交通結節機能の強化
モビリティハブの整備
新駅周辺等における自転車駐車場の整備
Ma a Sの導入
デジタル技術を活用した案内誘導システムの導入
交通需要マネジメントの導入
環境負荷を低減する交通環境の整備

※江東区臨海部都市交通ビジョンに関する情報はこちら
⇒<https://www.city.koto.lg.jp/397101/waterfront-traffic-vision.html>

基本方針 2 臨海部のポテンシャルを活かした回遊性の向上

端末交通の導入
コミュニティサイクルの活用
自動運転バス等の導入
魅力的な歩行空間の創出
自転車通行空間の整備・維持
舟運の活用

基本方針 4 誰もが安全・快適に移動できる交通環境の創出

計画的な道路の改修・整備
道路の無電柱化
道路空間の再配分
バリアフリー・ユニバーサルデザイン化
交通安全対策
緊急輸送を含めた空飛ぶクルマの活用
多様な交通を活用した災害時の移動手段の確保

本協議会が提出した意見

①「新木場・辰巳三丁目地区地権者協議会」について

- 「新木場・辰巳三丁目地区地権者協議会」は、新木場一～三丁目・辰巳三丁目地区において、行政等まちづくりに係る関係者と連携を図り、当地区の魅力や付加価値を高め持続的な発展に寄与することを目的とした一般社団法人です。
- 地権者協議会では、地権者によるまちづくりの発意を受け、まちの将来を描くなどの活動をしております。
- 当協議会は「江東区都市計画マスタープラン2022」策定の過程で江東区が実施したパブリックコメント募集に対して、交通に関して以下のコメントをいたしました。（一部抜粋）
『[道路・交通]の項目に、新木場駅は3線が乗り入れ利便性は高いものの、駅周辺利便施設については十分な集積があるとは言えず、また本協議会対象エリアだけでも130haと広大であることから、「新木場駅周辺利便施設の整備拡充」「自動運転を含めた新たな域内交通の導入の検討」の追加のご検討をお願い致します。
今後、新木場エリアのまちづくりの推進にあたり、本協議会としては今回のパブリックコメントの提示にとどまらず、引き続き江東区との協議を希望いたします。』

② パブリックコメント

- 上記を踏まえ、以下を今般の「(仮称)江東区臨海部都市交通ビジョン(骨子案)」に対するパブリックコメントといたしました。
『当協議会では引き続き上記を課題として認識しており、今後取りまとめ予定の「第4章 施策とロードマップ」の中で、新木場エリアの域内交通の充実に向けた取組みについてご提示いただきますよう、ご検討をお願い申し上げます。』

新木場まちづくりNEWS

新木場エリア内の検討事項の進捗状況について

2022年に実施した新木場内の事業者・就業者へのアンケートで、改善要望の多い項目として「飲食等サービス機能の充実」、「新木場域内の交通手段の充実」、「ゴミ問題等」、「防災・セキュリティ問題」があげられました。企画運営委員会傘下の二つの検討部会ではこれらの課題解決に向けた検討を進めています。

「飲食等サービス機能の充実」の検討

アンケート結果の詳細確認

飲食店舗等に関する事業者・就業者のニーズを具体的に把握するため、アンケート結果の詳細確認を実施しました。

改善希望は「店舗数(増加等)」が最も多く、次いで「選択肢・業態(増加等)」、「立地・アクセス」の順となりました。特に、選択肢・業態については昼食の環境改善に関する声が多く、立地については駅前以外のエリアへの出店を希望する声が多く見られました。

飲食店舗の実態調査の実施

新木場エリアの飲食店舗は駅前に集中。業態は定食、そば・うどん・ラーメン等の麺類、牛丼等が多く、偏りがみられます。

コロナ禍以降、飲食店舗の採算は厳しく、新規出店には慎重になっています。(なお、直近は駅前を中心に、複数の飲食店が新規開業しています)

事業者へのヒアリング

新木場における飲食需要や事業者としての出店意欲等について、複数の飲食・キッチンカー事業者にヒアリングしたところ、専門業者も新木場の飲食等の需要を計りかねている様子でした。

キッチンカーテスト出店の実施

上記状況を踏まえ、新木場エリアでの昼食需要把握を目的に、キッチンカーのテスト出店及び利用者アンケートを実施しました。本結果を踏まえ、飲食等サービス機能の充実に向けた対応策を引き続き検討して参ります。

- ・ 出店場所：三井リンクラボ新木場2（新木場1丁目17-8）
- ・ 実施時期：2024年1月下旬～2月上旬 平日10日間 昼食時

■ テスト出店の様子

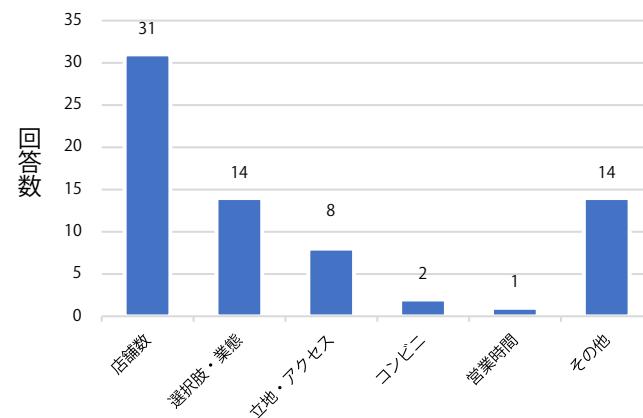


2024年1月23日（火）



2024年2月1日（木）

■ 飲食環境に関する要望 ※地権者アンケート(2022年)より



■ 飲食店舗・コンビニの立地状況 ※2022年12月7日時点



※その他、新木場駅構内にも複数の飲食店舗・コンビニ等が立地

「ゴミ問題等」の検討

公道のゴミ（ペットボトル含む）の散乱状態を調査しました。ここ3～4年は新木場の各事業会社が、前面道路部分を定期的に清掃した形跡があり、全般的に綺麗な状態となっております。当初、バス停付近ではゴミ（タバコの吸い殻、ペットボトル・空き缶等）が散乱しやすい状況にあると想定して、分別ゴミ箱を設置し新木場の大規模ビルの清掃業者にゴミの回収を依頼する計画を検討いたしました。

清掃業者からは、①このようなごみの回収については、特定依頼者からの発注であること、②ペットボトル、缶、ビン等分別されており中身は空の状態であること、③特にペットボトル等の中に異物が入っている場合は回収されない等のアドバイスがあり、分別ゴミ箱設置の計画は実現困難という判断に至りました。

「防災・セキュリティ問題」への対応

防犯カメラの設置について検討しました。設置費用や維持管理費用については、一定の要件を満たせば費用の一部について江東区の補助を受けられますが、防犯カメラの運用については誰がどのように対応するのか、プライバシー配慮等課題が多く設置については断念しました。

街路灯について設置状況を調査し、場所ごとに様々な特徴（密度・明るさ・維持管理状況等）があることを把握。折しも江東区土木部施設保全課が、幹線道路等一部の街路灯のLED化更新工事を開始（令和5年9月～令和6年3月）したので、調査結果を取りまとめた上で、同課と今後の新木場全体の街路灯の在り方等について打合せを行っていく予定です。

